

資材調達 ネットワークを 変革する。



時間価値を高め、持続的な成長を実現

当社は、2000年の創業以来、お客様の「時間価値」を高めるための間接資材販売のECサービスを提供しています。

製造業の工場や自動車整備業、建設・工事業を中心に、農業、飲食業、学校など、多岐にわたる現場でご利用いただいております。切削工具や研磨材などの工業用資材から自動車関連商品や工事用品、事務用品に至るまで、日本国内に加え韓国・インドネシア・インドでも事業を展開しています。

間接資材は必要となる商品が多品種で、かつ購買の頻度や購入数量が少ない場合が多く、企業の規模ごとに取り引価格や納期が異なるという商流が主流となっていました。

従来の不透明で不均衡な調達取引の仕組みを変革し、当社が提供する「すべてのお客様に公平かつ適正な価格で購入していただけるサービス」は、お客様の高い評価を得て、事業規模を拡大し続けています。

さまざまな業種のお客様のニーズを捉えた取扱商品の豊富さや、蓄積したデータ量、物流拠点を拡張して迅速な出荷体制を整えるといったスケールメリットを活かし、ECサイトに加え、大企業様向けの購買システム連携ソリューション提供（ONE SOURCE Liteやパンチアウト連携）にも取り組んでいます。

膨大な商品群の中から必要なものを素早く見つけ出せる自社開発の高度な検索システムや、個々のお客様に的確な商品を推薦できるシステムなど、データの力を生かした取り組みを行っています。お客様の仕事の効率化につなげ、時間を有効活用していただくために、ITの力をベースとした顧客満足度の高いサービスを強化していきます。

当社の強み

1. 1,900万点超の品揃え、50万点超の在庫保有が実現する、800万を超える多業種ユーザーへの利便性の提供
2. データサイエンスとオペレーションの力を最大限活用し、低コストながら効果的で高効率な販売と物流の仕組みの開発力
3. 新しいことにチャレンジし、テストを繰り返して最適解を導き出す実行力

関係者の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

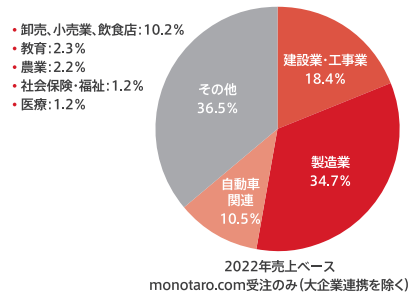
代表執行役 社長 鈴木雅哉



モノタロウはものづくりを支援する「チカラ」として、進化し続けます。

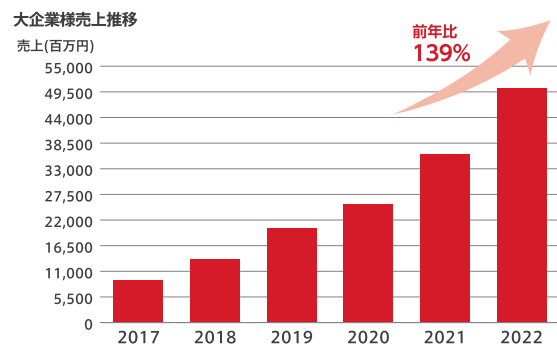
全国のさまざまな業種で多くの満足をご利用顧客数800万件以上

これからも「見つかる・便利・効率的」な間接資材購入に貢献し、お客様と共に成長してまいります。



独自の購買システム「ONE SOURCE Lite」と、パンチアウト連携導入企業は2,000社以上

大企業様の調達システムの効率化と見える化に貢献。ITやカスタマーセンターのサポートも充実しており、2022年通期は前年比139%の成長を実現しています。



多岐にわたる商品を、より安く、より効率的に仕入先2,000社以上

卸売業者様やメーカー様など2,000社以上・10か国を超えたお取引をしています。サプライチェーンを高度化することにより、多岐にわたる商品を効率的に、より早く正しく調達し、お客様にお届けします。



ロングテール商品で細かなニーズに対応取扱商品1,900万点超

インターネットの強みを活用し、他では採算性の問題からあまり取扱いのない商品(ロングテール商品)をきめ細かく取り揃え、お客様の多様なニーズに幅広くお応えします。

サービス向上への迅速な配送体制。在庫商品50万点超

より迅速な配送体制を整備し、自社運営の物流センターにて在庫・出荷を行っています。効率的かつ機動性の高いオペレーションの実装で、当日出荷によるお客様の利便性向上に努めています。



お客様ごとの購買傾向を詳細に分析

高いリピート率を実現する データマーケティング

お客様の注文情報やサイト上での行動情報などの膨大なデータを様々な視点で分析。お客様ごとに異なる「ニーズを先読み」した推薦機能など、ロジックを構築し仮説検証を進めることで、より精度の高いマーケティングを実現し、またその情報力でお客様の購買プロセス省力化に貢献しています。



低価格と最適品質を追求した、オリジナル商品の展開

プライベートブランド商品30万点超

自社で企画・開発・OEM化したプライベートブランド商品は、価格メリットと品質の高さでお客様の商品調達コストの削減にも大きな支持を得ています。



アジアを中心に3つの子会社と6か国の販売サイトを展開

海外市場への事業展開

モノタロウが日本で培ったEコマースのノウハウと、現地の手法の成功例を活用しあっています。

■海外子会社
・NAVIMRO(韓国)
・monotaro.id(インドネシア)
・IB MONOTARO(インド)

間接資材の調達は国により様々な市場背景があり、現地仕入・決済システムなど国ごとに合わせた取り組みを進めています。

■海外関連サービス/サイト
海外向けサイトでは、monotaro.comで取り扱っている多くの商品を掲載し現地へ出荷しています。シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム、フィリピン、台湾、ブルネイ、オーストラリア、ニュージーランドなど、6つのECサイトで18か国に展開しています。取扱商品点数:1,500万点超、納期(平均):約1週間でお届けしています。サポートは日本語と英語で対応。日系企業の海外工場をはじめ、さまざまな業種の現地企業様にご利用いただいています。

モノタロウのビジネスノウハウの提供

Zoro Toolsへのコンサルティング事業

Grainger社のECビジネスZoro Tools(アメリカ・イギリス)において、当社のデータベースマーケティングや商品展開等のノウハウを提供し支援する事業を行っています。

成長を支える、2022年のトピックス

猪名川ディストリビューションセンター 2022年4月に稼働開始

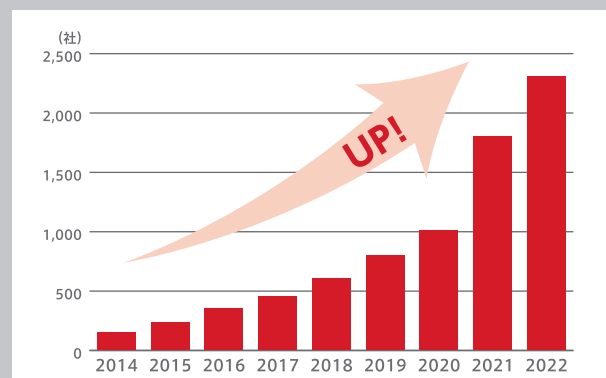
物流の効率化向上と従業員の負担軽減を目的に、小型無人搬送ロボット(AGV)を第1期で約400台導入しました。自動搬送ロボットや自動荷揃え装置の活用、システムによる配送区分選定の自動化など、テクノロジーとオペレーションの力を増強し、お客様の利便性向上に貢献し続けます。

2023年の第2期稼働後は、合計60万点の在庫能力と1日あたり18万行の出荷能力を持つ当社最大の拠点になります。すでに稼働している茨城県の「笠間DC(2017年～)」「茨城中央SC(2021年～)」と合わせ、これまで以上に多くの商品を迅速にお客様のもとへお届けできるようになります。



大企業向け購買ソリューション事業 導入企業2,000社以上

モノタロウ独自の購買管理システム「ONE SOURCE Lite」の提供や、大企業のお客様がすでにご利用されている購買管理システムとの連携に取り組んでいます。お客様の国内各拠点でバラバラに発注されていた間接資材調達を、導入により全社的に管理・見える化が可能となり、購買業務の効率化とガバナンス強化につながります。モノタロウは、1,900万点の品揃えと迅速な配送体制を持ち、多品種小ロットの商品群がまとめて購入できることが強みです。「ONE SOURCE Lite」では、承認フロー機能、分析レポート・コンサルティングを提供しており、お客様ごとのルールや承認フローを把握したコールセンターなど、サポートも充実しています。(導入費・運営費用は無料)



取扱点数 1,900万点突破

多品種小ロットといわれる間接資材市場において、「使用頻度が低い商品」や「交換部品」「オプション品」といった、ロングテールまで取り扱うことで、お客様が間接資材を見つけるために費やす時間を短縮し、お客様の時間価値を高めます。取扱商品は現在23カテゴリに展開し、プライベートブランド商品の開発にも力を入れています。約51万点を在庫し、データサイエンスを活用したサプライチェーン管理や販促に取り組んでいます。



サステナビリティの取り組み

2022年7月に自社物流2拠点の茨城県笠間DC・茨城中央SCの使用電力を、実質CO₂排出ゼロの再生可能エネルギーに切り替えました。

2022年10月には、お客様の環境配慮への取り組みを推進する「エコロジープロダクト」ページを開設。廃棄物削減やダイバーシティ&インクルージョンの施策にも取り組んでいます。

詳細はサステナビリティページをご覧ください。

https://corp.monotaro.com/ir/management/management_04.html



会社情報

概要 [2022年12月31日現在]

社名 …………… 株式会社 MonotaRO (英文名 MonotaRO Co.,Ltd.)
本社 …………… 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3F
(2023年 大阪梅田エリアへ移転予定)
東京オフィス …………… 東京都港区赤坂4-1-33 赤坂中西ビル4F
梅田サテライトオフィス …… 大阪府大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエスト オフィスタワー 13F
名古屋オフィス …………… 愛知県名古屋市中村区名駅4-13-7 西柳パークビル 7F
物流センター …………… 笠間DC:茨城県笠間市平町1877-3
茨城中央SC:茨城県東茨城郡茨城町中央工業団地3番8
猪名川DC:兵庫県川辺郡猪名川町差組字小谷101-1 プロロジスパーク猪名川 1
設立 …………… 2000年10月
資本金 …………… 20億3,900万円
親会社 …………… W.W.Grainger, Inc.
従業員数 …………… 3,259名(連結、アルバイト・派遣社員を含む)
主要な事業内容 …… インターネット等を利用した間接資材の販売

【関連子会社】

社名 …………… NAVIMRO Co., Ltd.
100%(完全子会社)
本社 …………… 韓国ソウル市
設立 …………… 2013年1月
資本金 …………… 17,000百万ウォン
主な事業内容 …… 韓国国内におけるインターネットを利用した間接資材の販売
社名 …………… PT MONOTARO INDONESIA
出資比率 …………… MonotaRO 51.0%
本社 …………… インドネシアジャカルタ市
参入 …………… 2016年10月
資本金 …………… 296,111百万ルピア
主な事業内容 …… インドネシア国内におけるインターネットを利用した間接資材の販売
社名 …………… IB MONOTARO PRIVATE LIMITED
出資比率 …………… MonotaRO 51.6%
本社 …………… インドニューデリー市
参入 …………… 2020年9月
資本金 …………… 31百万インド・ルピー
主な事業内容 …… インド国内におけるインターネットを利用した間接資材の販売

沿革

2000年 10月 …… 住友商事と米国グレンジャー社の出資により設立
事業主向けサイト「MonotaRO.com」オープン
URL: <https://www.monotaro.com/>
近畿地方・東海地方40社限定のテスト運営開始
2001年 11月 …… 間接資材調達サイト全国展開。本格営業開始
2002年 3月 …… 大阪府東大阪市にディストリビューションセンター開設
(2007年に尼崎DCに統合)
2004年 7月 …… プライベートブランド「モノタロウ」を発売開始
2006年 2月 …… 社名変更(住商グレンジャー(株) → (株) MonotaRO)
6月 …… 消費者向けサイト「IHC.MonotaRO」オープン
(2020年9月「モノタロウ」へサイト統合)
12月 …… 東証マザーズ上場
2007年 1月 …… 兵庫県尼崎市にディストリビューションセンター開設
(24,000㎡、2014年に尼崎DCへ統合)
2008年 3月 …… 本社を兵庫県尼崎市へ移転
5月 …… 自動車関連業界向け商品販売事業に参入
2009年 12月 …… 東証一部上場
2010年 4月 …… 海外輸出事業を開始
2012年 3月 …… 鈴木雅哉代表執行役社長に就任。瀬戸欣哉代表執行役会長に就任
2013年 1月 …… 韓国に子会社設立。同国MRO市場に進出
10月 …… 東南アジア向けサイト開設
2014年 5月 …… 農業資材・厨房用品販売事業に参入
7月 …… 兵庫県尼崎市に尼崎ディストリビューションセンター開設
(44,000㎡、2022年12月に猪名川DCへ統合)
2015年 5月 …… 医療・介護用品販売事業に参入
2016年 10月 …… インドネシアのEコマース事業会社へ投資。同国MRO市場に進出
2017年 3月 …… 茨城県笠間市に笠間ディストリビューションセンター開設(56,200㎡)
2018年 2月 …… 中国に子会社設立。同国MRO市場に進出(2021年9月に撤退)
8月 …… 東京都港区赤坂に東京オフィス開設
11月 …… ボーター賞を受賞
2019年 9月 …… 愛知県名古屋市内に名古屋オフィス開設
2020年 9月 …… インドMRO市場に進出
2021年 1月 …… 大阪府大阪市北区に梅田サテライトオフィス開設
2月 …… 茨城県東茨城郡に茨城中央サテライトセンター開設(49,000㎡)
3月 …… サステナビリティプロジェクト始動
2022年 4月 …… 兵庫県川辺郡に猪名川ディストリビューションセンター開設(第1期)
(2023年第2期稼働時194,000㎡)
4月 …… 東証プライム市場へ移行
7月 …… 笠間DC、茨城中央SCの使用電力を再生可能エネルギーに切り替え
(CO₂排出実質ゼロ)

業績

2022年通期実績

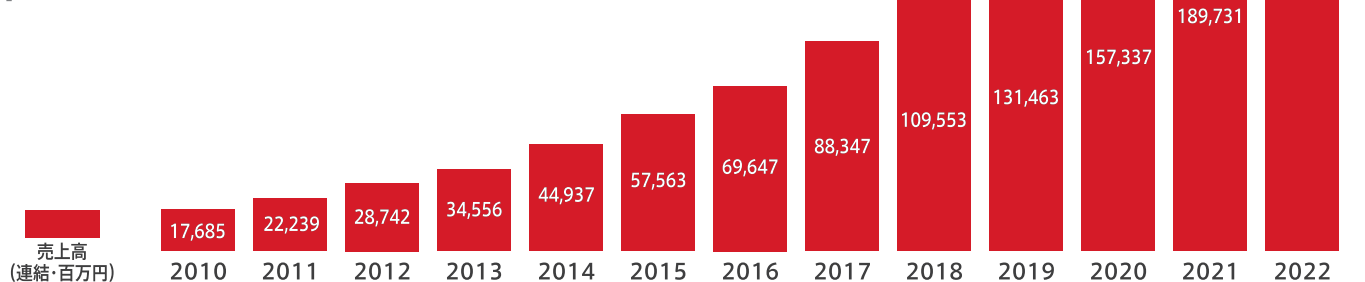
国内サイト monotaro.com

取扱商品 …… 2,259億円
ご利用顧客数 …… 800万超 (内、2022年新規登録数122万)

連結

売上高 …… 2,259億円
前期比 …… 19.1% Up

売上総利益 …… 21.1%



株式会社 MonotaRO

monotaro.com

コーポレートサイト: <https://corp.monotaro.com/>

〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3F

TEL: (06) 4869-7111【代表】